

津波避難タワー タスカルタワーA

フジワラ産業株式会社

〒550-0024 大阪府大阪市西区境川1-4-5

TEL 06-6586-3388 FAX 06-6526-1177

URL <https://www.fj-i.co.jp>

mail info@fj-i.co.jp

[資料請求先] 本社営業部 (防災) (TEL.06-6586-3388 FAX.06-6586-1177)

[拠点] 関東営業所 (TEL.03-5817-4056 tokyo@fj-i.co.jp)

九州営業所 (TEL.092-806-3535 kyushu_fj@ybb.ne.jp)



設置事例 (高知県黒潮町)

概要

4つの異なる方向に動くプレートの上にある日本の国土で発生する大規模地震は、世界中で起きる地震のおよそ2割を占める。温暖化の影響を受けて梅雨や台風などに集中豪雨が多発し、洪水や土石流の被害も増加している。

フジワラ産業は、自然災害から助かる命を増やしたいとの思いに基づき、さまざまな防災製品を提供している。

津波から避難できる高台やビルがない地域のために開発した避難設備が、鉄骨式津波避難タワー「タスカルタワーA」である。京都大学防災研究所において津波波力実証実験を実施するなど津波避難タワーのパイオニアとして独自の設計思想を反映した設備を展開している。

歴史・実績

同社は、平成16年(2004年)三重県志摩市に1号機を納入したのをはじめ、全国に48基の納入実績を有している津波避難タワーの専門メーカーである。

高知県黒潮町にはステージ高さ22m、床面積233㎡、収容人数230人の日本最大級の津波避難施設を納入している(収容人数は1㎡/1人で換算)。

研究開発等

- 「津波避難タワーの耐津波安定性に関する実験的研究」
京都大学防災研究所、沿岸技術センター、フジワラ産業の3者による共同研究を行い、公益社団法人土木学会の海洋開発論文集(23 99-104、2007)に掲載。
- 津波避難タワーの専門・先発メーカーとして構造、仕様に関するヒヤリングで国土交通省港湾技術課に招致。(平成25年5月20日)

主な準拠基準

- 津波避難ビル等に係るガイドライン
- 津波に対し構造耐力上安全な建築物の設計法に係る追加的知見について

特長

- 共同研究を踏まえ、漂流物の避難施設への衝突回避のための「保護緩衝杭」を標準装備としている。
- 地域の多様性を反映した各種の要望に応えるための工夫、提案が可能。

(例)

- 階段とスロープを併設したバリアフリー
- 外部階段の流失防止のための床下階段の設置
- 寒冷地対策
- 多目的利用のためのさまざまなファシリティ
- 遠隔開錠システム
- 高輝度蓄光板による誘導システム



車椅子用スロープ、ヘリからの救援スペースも備えた国内最大級の津波避難タワー(2017年高知県黒潮町)